

ニュースレター



NPO法人

あきたパートナーシップ

Vol. 77

発行日 2010. 4.10

編集 NPO法人

あきたパートナーシップ事務局

連絡先 TEL 080-5566-6238

FAX 018-829-5803

いよいよ新年度が始まり、街には初々しい新人の姿が溢れています。あきたパートナーシップでは、今年度も心新たに様々な事業に取り組んでいく所存です。会員の皆様にはよろしくお願いたします。

理事長挨拶

理事長に就任して満1年。腰を落ち着けて遊学舎を見ると、多様な年代の人々が、多様な目的で利用しており、その熱気に驚かされます。この人たちの活動がさらにパワーアップするよう、ある時は一緒に行動し、ある時は側面から支援するのがパートナーシップの務めです。職員は利用者に声をかけ、相談に乗り、一緒に行動し、その役目に邁進しています。

それに対し第三者的に冷めた目でいる自分に気づき、時々はっとしてしまいます。今年度の私の課題は、冷たい目を温かい情熱に変えることでしょう。

今年はパートナーシップが遊学舎の指定管理者になって5年目。新たな段階を目指して、職員一丸となって日々業務の見直し、職場の改善に取り組んでいます。会員、職員の力を借りて私自身もエンジンを駆動させていきたいと考えています。



理事長 菅原展子さん

センター長挨拶

昭和館の中庭の紅梅が花を咲かせ、セキレイがふれあい広場に姿を見せました。新芽が少しだけ膨らみ始めた枝には、カラスが巣を作って…。今日の遊学舎の様子です。何だか嬉しくてほっこりとした気持ちになりました。雪が消えるとあっという間に自然界は動き出すのですね。忙しさに自分を忘れてしまいそうになるけれど、不思議なことにストレスは感じません。

きっとここ、遊学舎の建物と自然が癒しを与えてくれているのだと思います。



去年生まれた子つばめたち
(去年写)

今年もつばめは巣作りに来てくれるかしら。

会員みなさま、22年度もどうぞよろしくお願いいたします。



センター長
島山順子さん

おかえりなさい ひろき君



海外で心臓移植手術を無事に終えた安藤大輝（ひろき）君が、この度、元気な姿を見せに遊学舎にやって来ました。ご両親や関係者とともに訪れた大輝君は恥ずかしそうに職員からのプレゼントを受け取っていました。

「ひろき君を救う会」を設立したのは1年前の1月17日。手探りの中で始めた募金活動でしたが、わずか1カ月で目標金額を達成できました。「おかげでかけがえのない命を救うことができ、感謝の気持ちは言葉では表せません」、また「大輝君の術後経過を見守っていきたいです」とご両親や関係者の方は仰っていました。



職員に囲まれて記念撮影。大輝君はちょっと恥かしげ。

AED が設置されました。

3月25日、秋田落ライオンズクラブより県に寄贈していただいたAEDが遊学舎に設置されました。

AED（自動体外除細動器）は心室細動の際に機器が自動的に解析を行い、必要に応じて電気的なショックを与え、心臓の働きを戻すための機器です。



使い方の講習を受けました。

これからの事業

日時	内容	場所
5月25日（火） 13:30～16:00	市民活動のためのIT活用講座「パワーポイント講座」 定員30名・参加費500円	遊学舎 研修室4
5月28日（金） 14:00～17:00	市民活動のためのIT相談会「ここが知りたい・解決したい」 定員6名・参加費無料	遊学舎
6月6日（日） 10:00～14:00	第1回フリーマーケット	遊学舎
6月6日（日） 13:00～16:00	第1回患者塾 参加費500円 会員は無料	遊学舎